

No. 540
2016年
7月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2016年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

*詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>

をご覧ください。

● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

日程：2016年9月14日（水）

場所：山形大学（小白川キャンパス）

山形県山形市

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016/symposium.html>

テーマ：再生・復興に向けたORの新たな役割

実行委員長：中山 明（福島大学）

事前振込参加費（9/5（月）締切）：

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9/5（月）締切

2016年度年会費納入済み個人正会員は、2016年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、OR学会事務局にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年秋季研究発表会

日程：2016年9月15日（木）、16日（金）

場所：山形大学（小白川キャンパス）

山形県山形市

研究発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016/index.html>

テーマ：再生・復興とOR

実行委員長：古藤 浩（東北芸術工科大学）

事前振込参加費（9/5（月）締切）：

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員（非会員学生を含む）の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。（事前振込、当日お支払い同額です。）

当日受付参加費：

正・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会：

場所：山形大学小白川キャンパス「小白川食堂テール・ボム」

日時：2016年9月15日（木）夕方（詳細未定）

参加費：事前振込み5,000円 9/5（月）締切（懇親会は、原則、事前振込になります。）

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：受付中

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 関西支部講演会

支部URL：<http://www.orsj.or.jp/kansai/>

・関西支部研究講演会

日時：2016年7月16日（土）12:40~17:00（12:00開場）

場所：常翔学園大阪センター301教室（大阪市北区梅田3-4-5毎日インテシオ3F）

<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

テーマ：「ORの第一線で活躍する女性研究者たち」

オーガナイザ：

井垣伸子（関西学院大学総合政策学部 教授）

梅谷俊治（大阪大学大学院情報科学研究科 准教授）

講演会の趣旨：

オペレーションズ・リサーチ（OR）分野の女性研究者は増加を続けており、活発な研究が展開されています。本関西支部研究講演会には、OR各分野において理論的研究から応用・実用化まで第一線で活躍中の多くの女性研究者の中から、関西を中心に招聘させていただきました。講師の先生方には、「ORの第一線で活躍する女性研究者たち」というテーマの研究講演をいただく予定です。女性研究者の横顔と研究成果を紹介し、研究者間の情報交換や学生のOR研究への意欲促進を意図しています。そして、女性のみならず、OR分野の研究者として生涯活躍するためのモチベーションの向上、およびOR分野の研究者全体のさらなる増加と社会貢献を期待したいです。

講師（敬称略）：

大野ゆう子（大阪大学大学院医学系研究科 教授）

森澤和子（大阪府立大学大学院工学研究科 教授）

柴田淳子（神戸学院大学大学院経済学研究科 准教授）

胡艶楠（名古屋大学情報文化学部 助教）

澄田範奈（国立情報学研究所ビッグデータ数理国際センター 特任研究員）

URL：<http://www.orsj.or.jp/kansai/seminar.html#20160716>

*詳細なプログラムは確定次第、改めてご案内いたします。

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第263回

日 時：2016年7月16日(土) 14:00~17:00
場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：

(1)「ボトルネックにおけるトラヒック特性変化について」

石橋圭介 (NTTネットワーク基盤技術研究所)

(2)「確率分布に関する凸最適化問題の最適解探索アルゴリズム」

中川健治 (長岡技術科学大学)

問合せ先：幹事 佐久間大 (防衛大学校)

E-mail: sakuma@nda.ac.jp

● 新宿 OR 研究会

〔第360回〕

日 時：2016年7月19日 (火) 12:00~14:00

講 師：伊倉義郎氏 ((株)サイテック・ジャパン)

テーマ：「ツール開発から実践へ、ORアナリストの挑戦」

場 所：OR学会事務局会議室 (東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

* 詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・日本機械学会関東支部講習会「変わる！これからの機械工学」シリーズ

第2回「ビッグデータの機械工学へのインパクトを探る」

日 時：2016年7月11日(月) 10:00~16:40

場 所：日本機械学会会議室 (新宿区信濃町35信濃町煉瓦館5階)

主 催：日本機械学会 (関東支部)

参加費：日本機械学会会員価格に準ずる

WEB： <http://www.jsme.or.jp/kt/kosyukai/2016kosyukai.pdf>

・スケジューリング・シンポジウム2016

日 程：2016年9月24日(土)~25日(日)

場 所：大阪府立大学 I-siteなんば

主 催：スケジューリング学会

参加費：スケジューリング学会会員価格に準ずる

URL： <http://www.scheduling.jp/symposium/2016/>

・非線形解析学と最適化に関する第5回アジア会議

The fifth Asian conference on Nonlinear Analysis and Optimization

日 程：2016年8月1日(月)~6日(土)

場 所：新潟市朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

主 催：非線形解析学と凸解析学に関する研究活動団体

URL： <http://mathweb.sc.niigata-u.ac.jp/~nao2016/index.html>

・標準化と品質管理全国大会2016

日 程：2016年10月6日(木)~7日(金)

場 所：都市センターホテル (千代田区平河町2-4-1)

主 催：一般財団法人日本規格協会

● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・東京都市大学メディア情報学部情報システム学科

募集人員：教授または准教授1名

所 属：メディア情報学部情報システム学科

専門分野：ソフトウェア工学

担当予定科目：ソフトウェア開発技法 (ソフトウェア開発手法など)、企業統治と情報管理 (IT統制など)、システムソリューション (ソフトウェア開発工程など)、システム開発演習A (C++を使ったPBL)、ソフトウェア開発特論 (大学院) など

任 期：任期なし (ただし、定年は65歳)

応募資格：(1) 博士の学位を有し、大学院においても教育・指導ができる方。(2) ソフトウェア工学 (ソフトウェア設計・テスト・保守、ソフトウェア開発工程、システム分析、プログラミングなど) について教育・研究ができる方。(3) ソフトウェア

開発の実務経験がある方。(4) 学生の指導・教育に熱意がある方。(5) 学科の運営方針に理解があり、運営に積極的に関与できる方。

待遇：給与は本学規定による

着任時期：平成29年4月1日

提出書類：(1) 履歴書，(2) 研究業績リスト，(3) 主要論文5編（別刷またはコピー），(4) 外部資金導入実績，(5) 研究業績，教育業績，実務経験の概要，(6) 教育ならびに研究に対する抱負，(7) 本人について照会可能な推薦者2名

応募締切：平成28年9月5日（月）必着

選考方法：第一次選考（書類選考），第二次選考（面接，模擬授業等）を経て採否の決定を行う。採否は選考過程終了後，応募者各位に通知する。

書類送付先および問合せ先：

〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西3-3-1
 東京都市大学メディア情報学部情報システム学科
 主任教授 八木伸行 E-mail: yagi@tcu.ac.jp

● 新入会員（2016年5月理事会承認分）

—正会員—

小崎 元 ヤフー(株)
 薦田 稔宏 住化コベストロウレタン(株)(関西

支部)
 セントラルエンジニアリング(株)
 千葉工業大学
 (株)トーエネック (中部支部)
 旭硝子(株)
 三菱電機(株)
 島根大学大学院 (中国・四国支部)
 明治大学

—学生会員—

赤堀 峻 慶應義塾大学
 山村 拓巳 筑波大学
 根岸 信太郎 大阪府立大学 (関西支部)
 徐 千里 筑波大学
 高田 和明 東京理科大学
 白石 諒 中央大学
 田中 健裕 中央大学
 中島 亜耶 神奈川大学
 角田 大河 東京理科大学
 呂 寛 東京理科大学
 カン シメン 東京理科大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

2016年度第2回 ORセミナー 『Excel SolverではじめるOR』

開催趣旨:「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけないか」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ (OR) の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの一つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。Solverはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むSolverの中にあつて、Excel Solverは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものといえます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ (OR) の古典的な問題を教材に、Excel Solverでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel (2010以降可) をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

日時: 2016年10月15日 (土) 10:00~17:30
会場: (株)構造計画研究所本所新館 (地下1階レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
 東京メトロ丸ノ内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)
司会: 中央大学 後藤順哉
定員: 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)。

プログラム: (敬称略)

- 10:00~10:05 **開会挨拶**
- 10:05~10:30 **セッション1 「数理最適化とSolver」** 講師: 中央大学 後藤順哉
数理最適化とは何なのか、それにおけるExcel Solverの位置づけについて学びます。
- 10:30~12:00 **セッション2 「Excel Solver入門」** 講師: 文教大学 堀田敬介
割当問題などの簡単な最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身につけます。
- 13:10~14:00 **セッション3 「ゲーム理論」** 講師: 文教大学 堀田敬介
2人非協力零和ゲームと線形計画の関係について学び、Excel Solverで均衡解を求めます。
- 14:00~14:40 **セッション4 「0-1 整数計画」** 講師: 文教大学 堀田敬介
集合分割問題等の数理最適化モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excel Solverで求解します。
- 14:50~15:35 **セッション5 「ポートフォリオ選択」** 講師: 中央大学 後藤順哉
資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excel Solverで効率的フロンティアを求めます。
- 15:35~16:20 **セッション6 「VBAを使って便利にする」** 講師: 中央大学 後藤順哉
アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcel Solverを使う方法について学びます。
- 16:30~17:30 **セッション7 「データ包絡分析法 (DEA)」** 講師: 中央大学 後藤順哉
DEAの基本的な考え方について学び、Excel Solverを用いて実現する方法について学びます。
- 17:30~17:35 **閉会挨拶**
- 17:35~ **「個別相談・質問コーナー」** 講師: 中央大学 後藤順哉, 文教大学 堀田敬介

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第2回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年10月7日 (金)

振込先: みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (JSRPIM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能ですので、未納の方はお支払いをお願いします。大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円，
学生会員 5,000円，
シニア会員 7,200円
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744
*手数料は払込人負担をお願いいたします。
*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきました。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

学会事務局夏季休業のお知らせ

2016年8月15日(月)～19日(金)

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 学生会員の方へ「学生証PDF送付依頼」のメールをお送りしました。返信をよろしくお願いいたします。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。